

1. (1)  $\varphi_{\pm}(\mathbf{x}) = \frac{1}{1 \pm x_{n+1}}(x_1, \dots, x_n)$ ,  $\varphi_{\pm}^{-1}(\mathbf{y}) = \frac{1}{1 + |\mathbf{y}|^2}(2y_1, \dots, 2y_n, \pm(1 - |\mathbf{y}|^2))$   
 (2)  $(f \circ \varphi_{\pm}^{-1})(\mathbf{y}) = \pm \frac{1 - |\mathbf{y}|^2}{1 + |\mathbf{y}|^2}$  は  $\mathbb{R}^n$  上の  $C^\infty$  級関数であるから,  $f$  は  $S^n$  上の  $C^\infty$  級関数である.

2.  $f: M_n(\mathbb{R}) = \mathbb{R}^{n^2} \rightarrow \mathbb{R}$  を

$$f(X) := \det X - 1$$

で定義すると  $f$  は  $C^\infty$  級で  $\mathrm{SL}_n(\mathbb{R}) = f^{-1}(0)$  である.  $X = (x_{ij}) \in M_n(\mathbb{R})$  の  $(i, j)$  余因子を  $\Delta_{kj}$  とおくと,  $j = 1, \dots, n$  に対し次が成り立つ:

$$\det X = \sum_{k=1}^n x_{kj} \Delta_{kj} \quad (*)$$

$\Delta_{kj}$  は  $X$  の第  $k$  行と第  $j$  列を取り除いて得られる行列の行列式だから  $x_{ij}$  ( $i = 1, \dots, n$ ) を含まない. よって

$$\frac{\partial f}{\partial x_{ij}}(X) = \sum_{k=1}^n \Delta_{kj} \frac{\partial x_{kj}}{\partial x_{ij}} = \Delta_{ij}$$

である. 従って  $X$  における  $f$  の Jacobi 行列  $Df(X) \in M_{1, n^2}(\mathbb{R})$  は,  $\Delta_{ij}$  ( $i, j = 1, \dots, n$ ) を並べたものになる. 特に  $X \in \mathrm{SL}_n(\mathbb{R})$  とすると  $\det X \neq 0$  だから, (\*) より, 少なくとも 1 つの  $\Delta_{ij} \neq 0$  である. 従って,  $X \in \mathrm{SL}_n(\mathbb{R})$  のとき  $\mathrm{rank} Df(X) = 1$  である.

以上のことから  $\mathrm{SL}_n(\mathbb{R})$  は  $C^\infty$  級多様体の構造を持つ.

3.  $\frac{df}{dt}(t) = \frac{1}{(1+t^2)^2} \begin{pmatrix} t^4 + 4t^2 - 1 \\ -2t \end{pmatrix}$  である. 第 2 成分が 0 になるのは  $t = 0$  のときのみであるが, そのとき第 1 成分は  $-1$  だから, 任意の  $t \in \mathbb{R}$  に対し  $\frac{df}{dt}(t) \neq \mathbf{0}$  である. 従って  $f$  ははめ込みである.

一方,  $f(-1) = \begin{pmatrix} 0 \\ 1/2 \end{pmatrix} = f(1)$  であるから  $f$  は単射でなく, 従って埋め込みではない.

4. (1)  $\mathbf{x} \in \ker f_A$  とすると  $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$  だから,  $f_{AA}(\mathbf{x}) = {}^t A(A\mathbf{x}) = \mathbf{0}$ , 従って  $\mathbf{x} \in \ker f_{AA}$  である.  
 $\mathbf{x} \in \ker f_{AA}$  とすると  ${}^t A A \mathbf{x} = \mathbf{0}$  だから

$$\mathbf{x} \cdot {}^t A A \mathbf{x} = 0 \quad (\mathbb{R}^n \text{ の Euclid 内積})$$

である. 一方

$$\mathbf{x} \cdot {}^t A A \mathbf{x} = {}^t \mathbf{x} ({}^t A A \mathbf{x}) = {}^t (\mathbf{A} \mathbf{x}) \mathbf{A} \mathbf{x} = (\mathbf{A} \mathbf{x}) \cdot (\mathbf{A} \mathbf{x}) = |\mathbf{A} \mathbf{x}|^2$$

だから  $|\mathbf{A} \mathbf{x}|^2 = 0$  を得る. 従って  $f_A(\mathbf{x}) = \mathbf{A} \mathbf{x} = \mathbf{0}$ , つまり  $\mathbf{x} \in \ker f_A$  である.

- (2)  $A \in M_{m,n}(\mathbb{R})$  のとき,  $f_A$  と  $f_{AA}$  の定義域はともに  $\mathbb{R}^n$  である. よって次元定理より

$$n = \dim \ker f_A + \dim \mathrm{Im} f_A, \quad n = \dim \ker f_{AA} + \dim \mathrm{Im} f_{AA} \quad (**)$$

である.  $\dim \mathrm{Im} f_A = \mathrm{rank} A$ ,  $\dim \mathrm{Im} f_{AA} = \mathrm{rank} {}^t A A$  であることと, (1) より  $\ker f_A = \ker f_{AA}$  であることを (\*\*) に適用して  $\mathrm{rank} A = \mathrm{rank} {}^t A A$  を得る.